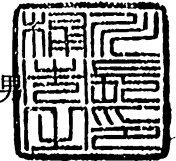


平成20年10月23日

桶川市長 岩 崎 正 男



平成20年9月19日付、国道企第37号で依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

当市においては、現在2つの大規模道路事業が進捗中であり、その一つの一般国道468号首都圏中央連絡自動車道(圏央道)は、国の主要な事業に位置づけられ、早期整備が求められており、またもう一つの圏央道と結節する一般国道17号(上尾道路)についても、一般国道17号の交通渋滞を解消し、沿道環境の改善を図ること等を目的に、整備が現在進行形で進められている状況である。

このような状況の中、「道路特定財源等に関する基本方針」の中にある「必要な道路は着実に整備する」とされた基本方針を踏まえると、当市において、国が事業主体となり整備が進められている「圏央道」「上尾道路」については、事業の進捗に支障をきたさないよう、整備に要する財源は確実に予算化していただき、その中で、当該道路が整備されることに伴い、多くの市が管理する道路が分断され、今まで有した市道の機能、役割等が損なわれてしまうことで、市が対応しなければならない道路整備についても、十分な財政的支援等を講じていただくよう要望する。

②－１ 地域の現状と抱える課題

○現状

当市の第四次総合振興計画の中で、圏央道、上尾道路などの広域幹線道路の整備促進を主要施策の一つとし、その建設に伴い、市の幹線道路の安全対策及び生活道路の連続性の確保について取り組むこととしている。また、地域幹線道路の整備促進も主要施策の一つとして掲げ、圏央道の進捗を踏まえ、関連する都市計画道路の整備を推進することとしているが、現状では財政的に非常に厳しい状況から、予算化することができず、整備に向け十分にに取り組むことができていない。

○課題

圏央道、上尾道路の整備が進捗していく状況を踏まえ、平行して、関連する市道整備に取り組まねばならないが、財政的に厳しい状況の中で、市道整備に関する予算化ができない。地域分断の解消には、事業主体である国に対し、圏央道や上尾道路の整備と一体で、関連する市道も含めた道路整備を要望しており、ご理解をいただいておりますが、まだ十分とはいえない状況にある。そこで、市ができることを整理し、国に引き続き要望していく必要がある。

②-2 地域の目指すべき将来像

広域間を移動する通過交通と地域の交通が混在しないよう、広域幹線道路、地域幹線道路、生活道路等からなる道路の機能分担の明確化を図り、交通安全と誰もが安心して社会参加ができ、快適に暮らせる生活環境確保に十分配慮した道路づくりを推進する。中でも、首都圏中央連絡自動車道、上尾道路などの広域幹線道路に関しては、これに対応した計画的な土地利用を図ったまちづくりを目指す必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

埼玉県桶川市

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
良好な生活空間、自然環境の形成	首都圏中央連絡自動車道、及び上尾道路の整備促進とそれに伴い影響を受ける市道の安全対策及び連続性の確保	圏央道と上尾道路の完成に伴い、交通の利便性が向上し、経済的な波及効果が期待できる。	期待する効果が見込まれる一方で、交通量の増加等により生活道路の役割を持つ市道の安全性、連続性を確保する必要がある